

## おもな内容

- ▶児童・生徒の安全
- ▶学校外における子どもの健康と安全
- ▶プール管理雑話
- ▶健康指導の前進のために
- ▶第23回全国学校薬剤師講習会
- ▶豊かでたくましい心を求めて
- ▶会報「学校保健」の行方
- ▶第26回全国学校保健研究大会要項
- ▶第11回東北学校保健大会開催要項
- ▶日本学校保健会だより

The School Health (No.113)

昭和51年9月1日発行

# 学校保健

(隔月発行)  
 発行 日本学校保健会  
 東 俊 郎  
 東京都港区芝西久保明舟  
 町20第18森ビル2号館8階  
 電話 (501)3785・0968  
 振替口座東京 98761  
 頒価 1部80円(送料共)

財団法人 日本学校保健会会報

## 児童・生徒の安全

日本学校安全会は、昭和35年発足以来、学校の管理下における児童・生徒等の災害に対して医療費その他の給付を行っている(災害共済給付事業)が、その実績から児童・生徒等の災害の状況を見ると、安全会が発足した昭和35年度の37万件から年々増加を続け、最近年度である昭和50年度においては、負傷・疾病894,930件、廃疾568件、死亡247件、計895,745件と、この16年間に災害の件数は2.42倍に増加している。

学校で起こる児童・生徒等の災害の件数は、以前からよく交通事故による死傷者数と比較され、交通事故が昭和40年代の中頃から減少に転じているのに、学校で起こる児童・生徒等の災害はなぜ増加を続けるのかと問題にされてきた。こうした比較がされるのは、交通事故が減少したのは、昭和35,36年頃から約10年間、国をあげて事故防止に取り組んだ結果であり、学校で起こる児童・生徒等の災害についても同等の取り組みがなされるべきだという見解が背景にある。

確かに、児童・生徒等の安全の確保は、学校教育の上で重要な問題であり、そのための努力は欠かすことができない。そして、安全の反対語が危険であり、危険のバロメーターは危険発生の件数であるとすれば、災害件数の増加は、学校環境、学校生活の中の危険の増加を示すこととなって、それを減らす努力の不足乃至欠如を責められてもやむを得ないと考えられる。

しかし、学校における児童・生徒等の災害の場合、それ程簡単に割り切ることはできない。すなわち、学校教育は、子ども達を心身ともに健康な国民に育成することを、その目的に掲げている。これは体育に関する教育を不可避とする。そして、学校における児童・生徒等の災害の8割以上は、体育的な活動(休憩時間中の活動も含めて)の中で発生している。心身共に未

発達な児童・生徒等が、活発な体育活動を行えば、その動作・行動の中で事故の発生を阻止することは極めて困難であり、単に災害防止に着目すれば体育的教育活動を質・量ともに低下させることになるであろう。

また、児童・生徒にとって、けがは長い将来を見通した場合、生活技術獲得の上で重要な経験でもあるという問題がある。交通事故防止にあれば国を挙げての取り組みがなされたのは、それがいづれも重大な結果を招くことによる。学校での児童・生徒等の災害についても、死亡、廃疾あるいは長期療養を余儀なくされるような災害の発生は是非とも防がなければならないが、学業に支障のない、あるいは、多少の支障はあっても十分に取返せるような災害については、災害発生に伴う医療費等家庭の経済的負担を吸収する方策が取られてあれば、さほど問題にする必要はないと考えられる。安全会の制度は、学校で発生する児童・生徒の災害を、極めて軽少なまでの救済の対象としており、また、統計上の実態からみると、学校の管理下における児童・生徒等の災害は、その8割程度が軽度のもので占められており、この面からも、交通事故との単純な比較は、当を得ないと考えられる。

さらに、災害件数の増加は、使われる統計が災害統計ではなくて安全会の給付統計であり、給付条件の緩和等が件数増加に大きく関与しているのも、件数増加を危険の増大に短絡させることも当を得ない。我々として希望し、期待したいのは、災害の単なる数に惧れず活発な教育活動を展開しながら重災害の防止には十分な配慮をして頂きたいこと。そして、また一方では施設・設備の管理瑕疵や監督不十分など学校側自らの落度によって災害を起こさないようにしてほしいことである。(日本学校安全会 伊藤晃児)

# 学校外における子どもの健康と安全

東京都千代田区立麴町小学校校長 山下 康 雄

## ◇家庭と地域社会への要望

夏休みになると水による子どもの事故が、しばしば我々の心を痛める。また、花火による事故なども毎年のように発生している。交通事故に至っては、一年中ひきもきらない状態である。

ところで、子どもの心身の健康と安全を脅かすものは、これ等の事故だけではない。病気・非行など、まさに多種多様である。

これ等の事故や病気・非行などから子どもを守り、その健康と安全を確保・増進することは、我々おとなの責務である。特に学校外における子どもの健康と安全の確保・増進は、家庭と地域社会が責任をもって保障すべきことを、改めて確認する必要がある。

## ◇計画的・組織的な点検と結果の活用

交通事故による死亡者は、むしろ交通量の少ない地方で多発している。非行も都会だけのものではなく増えてきている。今や子どもたちの健康や安全が脅かされているのは、静かな田園や平和な農村にまで及んでいる。また、子どもの冒険心や好奇心は、我々おとなの思い及ばない振幅をもっている。おとなの常識では考えられないような行動をしたり問題をひきおこす。この様に子どもの健康・安全にかかわる問題点は、まことに広範多岐にわたっている。

子どもの健康や安全の確保・増進は、まずこれ等の問題点を的確に把握するところから出発しなくてはならない。そのためには問題点の点検が、警察などの関係機関・町会などの地域団体によって、計画的・組織的に行われる必要がある。また、点検の結果が各方面に周知されたり、適切な対策や措置が講ぜられるなど、十分に生かされるような配慮が肝要である。

## ◇健康・安全への姿勢・態度の育成

社会情勢や環境条件の不断の変化は、子どもの健康

安全について絶えず新しい問題を提起してやまない。そのひとつひとつに適切な措置をすることも大事であるが、それだけでは対症療法に終始する虞れもあり、新しい事態に主体的に対処し得る子どもを育成するという観点からすると、必ずしも充分ではない。

いつでも・どこでも自己の健康と安全の確保・増進のため、最適・最善の道を求める姿勢・態度の育成こそ、最も重要なことである。子どもたちが自己の健康と安全のため、自身の行動に適切なブレーキをかけ、自身の生活に適確なハンドルをきることができるように育てることこそ、肝要というべきである。

## ◇健康と安全の積極的な創造

健康は天与の部分も多いが、摂生や精進によって獲得される部分も少なくない。食生活の改善や生活規律の確立によって、効果をあげた事例もかなりある。安全の問題などは、まさに人間の努力くふうにまつところ大なるものがある。

ただ健康と安全を守るといった消極的な態度ではなく、積極的に健康と安全を向上・増進するといった、創造的なとりくみが望まれる。日常の地道な実践活動を根気強く呼びかけたり、遊園地の造成・サークルの育成など環境条件を整備充実する等のことを、家庭や地域社会は積極的に推進すべきであろう。

## ◇家庭とくに母親への期待

子どもの健康・安全に特効薬はない。毎日の生活を大事に、地味な努力を積み重ねるほかない。まさに「継続は力なり」というべきであろう。そして、その積み重ねを成立させるものは、家庭ことに母親に負うところが大きい。心の安定・生活のリズム等々は、健全な家庭や寛厳よろしきを得た母親の薫陶によるところが多いからである。

近視にならない為に

## 正しい視力管理

近視をこれ以上進めない為に

監修

日本眼科医会常任理事 医学博士 長 屋 幸 郎

大阪市立小児保健センター眼科科長 医学博士 湖 崎 克

推せん

(財)日本学校保健会

日本眼科医会会長 医学博士 三 田 弘

国際標準視力表  
図解書  
カセットテープ2巻  
1セット ¥5,000

学校生活の中で発育ざかりの学童や生徒の偽近視・近視を予防してあげましょう

・どうして近視になるのか ・近視予防の日常の注意とは ・健康体操(遠方・遠近凝視訓練法を含む)・音楽号令入)

お申込みは  
案内書請求

東京視聴覚株式会社  
〒160 東京都新宿区三栄町9  
電話 (03) 3 5 5 - 5 7 1 1

# プール管理雑話

東京都千代田区立九段小学校

学校薬剤師 細谷 政弘

私が始めてプールの水質管理を実施したのは、昭和47年8月学校薬剤師を委嘱された時からであります。

47年度は万事不備なま、お茶を濁した程度で推移しました。48年度こそは職責上万全の結果を得ようと、準備万端足りなくプール開きの日から勇躍実施しました。さて作業を始めてから驚いた事は時間が意外に長くかかる事でした。千代田区立九段小学校のプール環境をお話しておきましょう。屋外25米・循環式、東郷公園内にあり周囲を樹木“ニセアカシヤ”で囲まれ私は良好な環境であると判断しておりますが、一面屋内プールの方が、小学校では望ましいという見方もあると思います。

以上の状況の中で1日の作業時間が3時間前後かかるのです。規定通りの残留塩素を保持する事が如何に難かしいかを痛感したわけです。学校では2名の先生がプール指導にあたっておりますが、この様な作業時間では1名は衛生管理にかかりきりで、平均約50名の生徒の安全管理を残りの1名で当らねばなりません。これは大変な事です。先生には水泳指導、安全管理に専念して頂こう。仮りにも薬剤師である自分が衛生管理に専念して見ようと決心しました。以来48,49,50年と、日頃9時起床の朝寝坊が、プールが始まると7時に起床し、朝食も採らずに、いそいそとプール通いを続けている次第であります。

作業内容を分析しますと、プール内の落葉落花の除去に相当の時間を要しました。それは時期が樹木の開花期に当り、ムードとしては甘い芳香がたゞよい非常にグーなのですが、この落花と落葉の清掃には参りました。又クロリネーションに就いても次亜塩素酸ソーダ溶液は、意外に平均にまざり難く、均一の値を得るのに相当の時間を要した事です。

48年度より次亜塩素酸ソーダ溶液に換えて、中性次亜塩素酸カルシウムの採用により作業時間は半減しました。

勿論学校薬剤師は、あくまで管理の立場で指導すべきであるとの見方もあると思います。当校では毎年度“水泳の指導”なるパンフレットを作成全教員に配付

し、安全衛生管理の徹底を期しております。私はあくまで被告の立場で学校保健法に定められた公約数を忠実に行為に、その日、その日の気象状況によってくると変化する、九段小学校のプールに自ら取組む事も意義のある事と思考しております。

私は過去三期プールの水質管理にたずさわり、楽しみが増えました。それは児童達が水泳を通じて、人生に開眼してゆく姿をまのあたり見る事です。あの旺盛な何でも自分のものとして取込んでしまう生命力に何か目標がつかめた時のひたむきな何かを感じ取れるのです。この事は音楽を通じて、工作を通じてもいえる事なのですが、先生方が苦勞して生徒の一人一人から長所を見付け出し、それをのばしてやる努力の結果としての楽しみ、天下の英才を得て之を教育するとはこんな事をいったのではないかと思っております。児童が、こんなにも楽しく、そして真剣にとりくんでいる、水泳を安全に、かつ理想的な環境とする為にできるだけの努力をおしまないで実施しようと考えております。

また、先生方とのわずかな対話の中から非常に貴重なものを収獲しております。ある先生が私にエミールを教えてくださいました。時々ひろい読みをしておりますが、私の小学校時代を顧みて興味深く思えます。あの理想に燃えた若い受持の恩師の姿が今更ながら思い浮ぶのです。

環境衛生の仕事はあくまで裏方として終始すべきだと考えております。

それに就て『人不知而不愠』という古語を、「或行事のそれぞれの職務分担の中で晴れの役をうけたまわる人がいるかと思えば裏の方でちっとも目にたない役を勤める人もいる。こういうかげで働く人がいなければ、はなやかな舞台もうまく回ってはいかないものですからこんな人たちはすこしも気にかけず、ただ行事がぶじに済むことを念願して働かねばならないのです。こんな人達こそ、まことの男と呼ぶべきではないか」と解釈された京大名誉教授員塚茂樹先生のお説に改めて共鳴している次第であります。

体力をつけ健康を保つ **カワイ** のビタミンAD剤

**カワイ肝油ドロップ**

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位  
ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8

**カワイカンズドロップM**

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位  
ビタミンD<sub>2</sub> 200国際単位  
リン酸水素カルシウム 65mg



養護教諭のひろば-11)

# 保健指導の前進のために

東京都千代田区立神田小学校 養護教諭  
養護教諭 林 容 子

「健康障害によって自信をなくしたり、やる気を失ったりする児童の立場にたつて、少しでもその障害をとりのぞいてやることのできる養護教諭になりたい。」

こんな願いをもって、養護教諭のスタートを切ってから、アツという間に5年も経ってしまいました。ふり返って、なにができたのかしら!!

以下、努力しながら解決できない悩みの一端をのべることにします。

## (1) 児童を理解すること

原因不明の痛みを訴えたり、定時的に気分が悪くなったりして、保健室を訪れる児童がふえています。

苦痛や悩みをよく聞いてやり、その原因を児童と共に考えるよう努めています。簡単には明るい顔になってくれません。

教室内の問題もあるでしょうが、家庭内に問題があり、それを学校に持ち越している場合もある。

いろいろな複雑な要素を含んでいる児童の特性を理解する事だけにけんめいになっていると、かえって溺れ込んでしまう危険もあり、又、反対に、ややもすれば他の事務処理に追われていると、児童の訴えを聞き流してしまうこともある。

「養護教諭」という職名の示すとおり、医療的な面の養護と、児童の教育を司る教諭という二面性を持つ必要があることはいうまでもありませんが、現場でその両面を実践するには甚だ困難な点が多い。

それは、学級担任の行う指導と、養護教諭の行う指導が同じ目標に向って併行して行わなければ効果があることができないばかりか、かえって逆効果になる恐れも十分あるからである。

それ故に、児童の理解を学級担任以上に、深めることが必要であり、特に心理的な原因を併せて持つ児童の理解が私の新しい課題となってきます。

## (2) 保健指導のマンネリ化を防ぐ

定期健康診断・臨時健康診断・各種行事の前後における保健指導についても、現状では慣例によって実施し、事後措置を行っています。

これらについては、特にマンネリ化してしまうことを恐れています。

一つ一つの行事が、どうすれば、より効果的に児童及び家庭に理解させることができるかが最大の問題点

となってきます。

特に学級担任の指導と協力が絶対欠くことのできない必要なこととなります。

それは直接指導の場を持つことが甚だ少ない私達養護教諭の最大の悩みとなっているからです。

## (3) 学級担任との協調

本校は古くから、健康教育に熱心で、たびたび、東京都・千代田区より、「健康教育優良校」として表彰を受けています。

このように実績をあげることができたことは、校長の保健に対する深い理解と、学級担任と養護教諭の協調が大きき力になっていることはいうまでもありません。

全職員と地域社会との協力、学校保健委員会活動などの組織づくりについても、効果ある運営については、早くからモデル的存在として、注目をあびてきました。

各保健行事のほか、日常の保健指導(学級指導)や5・6年の保健学習等の充実のため、資料の作成、教材提示、あるいは、児童の疾病異常の連絡等、更には、保健指導の面に関するあらゆる資料作成については、担任と連絡をとり、効果をあげるよう全力をあげてとりにくんでいきたいと配慮しています。

## (4) 保健指導の位置づけ

健康・安全教育は、東京都でも、本校でも重点目標としてあげています。

しかし いつ どこで なにを どのようにして指導するか、についての具体的な計画や実践はまだまだです。

その原因の一つに、私自身全校の教育課程の中に、保健をどのように位置づけたらよいか、あいまいな点の多いことをあげることができます。と同時に、こゝでも又、困難な壁に直面することは、児童の指導に直接担当する場が極めて少ない「養護教諭」という立場に強いあせりを感じてやみません。

これからは、児童が自分からすすんで健康診断の意義を考えたり、自分の健康について疑問を感じたら、すすんで、それを解決しようとする方向にもっていきけるようになったらとてもすばらしいことと思います。

来年度は、教育全般について、知識を深め、更に広い視野に立って学校保健を考え、本校の保健指導を一步でも前進させるよう努力したいと思っています。

**学童の集団検尿には  
潜血検査も**

キッドステック1<sup>®</sup>  
Kidex

ヘマコンビステック1<sup>®</sup>  
Hema Combix

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社  
マイルス・三共株式会社

**肉体疲労時の栄養補給  
虚弱体質に**

**ポポンS錠**

シオノギ製薬

## 第23回 全国学校薬剤師講習会

6月23日(水)・24日(木)の両日にわたり、広島市青少年センターホールにおいて開催された。

学校薬剤師をはじめ、学校保健関係者の資質の充実を図り、もって児童生徒の健康の保持増進と学校保健の進展に資することをテーマに、保健関係者を混えて会場満席に参加し、広島県学校薬剤師会長川本実先生の力強い開講のことに続いて広島市長、文部省、県教育委員長などのあいさつを頂き、広島県の学校長、養護教諭、保健主事、学校薬剤師をパネラーとする「学校の効果的な環境衛生の進め方」についてのパネルディスカッションを含めて、5講師による講議があり、学校薬剤師の職務内容、特に最近の学校環境衛生の諸問題について熱心に研さんが行なわれた。

### 1. 学校保健の動向

文部省体育局学校保健課長 遠藤 丞  
課長に就任して5ヵ月、その中で学校環境衛生を含めて学校保健のあり方、学校全体と保健のつながり、家庭又は行政とのつながりなどを肌で感じた印象を色々な角度から述べられ、学校や家庭や子供たちの学校保健に対する意識の昂揚が学校保健を定着させる基礎になるのではないかと感想の形で話された。

### 2. 学校における音響の問題について

日本女子大学教授 工学博士 瀬沼 勲  
教育の場に視聴覚という言葉がある様に、聴の分野、つまり音というものが教育の手段に取り上げられている面が非常に多く基本的な問題となっていると前置きされ、学校での音の環境について騒音の問題と室内音響の問題について実験例、計算式などを上げられ講議された。

### 3. プール塩素消毒におけるイソシアヌル酸の評価

日本大学理工学部教授 薬学博士 沢村良二  
イソシアヌル酸に関する欧米の文献をできるだけ網羅して紹介し、十分な情報をもとにして評価することについて考えて見たいと、これらの文献の説明があり、われわれが取扱う事象は原則として両刃の剣という要素を持っているので、イソシアヌル酸は是非かという問題についても、偏見や予断を排除する能力と断片的な知識や情熱にまどわされない英知とを基盤として、総合的に判断し、それぞれもっとも適切なプール管理の手段を選択する様念じている。

### 4. 瀬戸内海の汚染と漁業被害

水産庁南西海区水産研究所漁場保全研究室長  
農学博士・理学博士 村上彰男  
四面を海に囲まれた海国日本人としては、あまりにも海というものの機構を知らな過ぎる。海の構造として海域、流入河川、二次湾、海底の果す役割を理解してもらいたい。海流、干潮域の関与にも拘らず海水の移動、入れ換りはさ程進行せず、その対流量は断面積と流量に大きく左右され、特に内海、二次湾に於てこの現象が顕著である。海の汚染とは「人間の手で汚され海本来の姿を失ない、元来持っていた期待価値を損った」と考えればよく、その汚染源は第1,2,3 次産業

の廃水、生活廃水が主であり、その海水への拡散は、ただ単なる比重の差だけでなく、機械的な慣性と相俟って層をなし、流入量に比例した広範囲の廃水塊を形成して広がっている。このように汚染の機構から総量規制、汚染の除去等についての研究と対策について述べられた。

### 5. 学校給食、食品衛生の話題

東京学芸大学教授 薬学博士 元山 正  
細菌性食中毒の予防として、菌量を増さないということが必要で、そのため低温保存、保存時間の短いことが必要なことを酒田駅の弁当中毒を例として説明され、次に学校給食にアルファ化米が使用されることもあるので、アルファ化というものについて化学的な解説があった。次に学校給食で問題となって来ている油の劣化について、その毒性、測定法、劣化の起る原因等について述べ、また市販食品の実状を説明して学校薬剤師として関心を持つよう希望された。

### 6. 学校薬剤師の当面する諸問題

文部省体育局学校保健課教科調査官 国崎 弘  
「学校環境衛生の実施基準」作成が遅れている理由を説明したのち、新しく学校薬剤師になった者の指導を考え、学校とは、学校保健には指導と管理のあること、そして非常勤ではあるが公務員であること等を述べ検査屋ではなく、指導助言をすることを強調され、学校保健関係者間の協力、理解の必要なことを述べられた。

なお講義録(日本学校薬剤師会編)が11月には発刊される予定です。

(日本学校薬剤師会常務理事 飯森関男)

### 計 報

坪根哲郎氏 (健康相談〈歯・口腔〉委員会委員)

昭和50年度末より学校保健センター的事業の委員となられた坪根教授(日本歯科大学)には、昭和51年7月1日(木)午前9時5分心筋梗塞のため急逝せられました。享年48才でした。

本会として、ここに謹んで御冥福をお祈り申し上げますとともに御通知申し上げます。

お役だてください

**アリナミン** 

効能＝肉体疲労時・妊娠授乳期・病中病後のビタミンB<sub>1</sub>補給。脚気。神経痛・筋肉痛・腰痛・肩こりの緩和。

☆食後すぐおのみください。☆25ミリ錠。

# 豊かでたくましい心を求めて

## 第27回 10大都市学校保健協議会報告

神戸市学校保健会長 井 上 正 三

さる5月23日、24日の両日、神戸市において、文部省の遠藤課長、東会長を迎え、東京都及び指定都市9都市の学校保健関係者500余名の参加を得て、標記協議会を開催いたしました。

本協議会は、昭和25年六大都市で発足して以来今まで毎年大都市に共通する学校保健に関する諸問題について研究協議を重ねてまいりました。

今回は「大都市における児童生徒の健康安全に関する課題や対策を究明し、健康な心身づくりと健康的環境づくりを積極的に実践する児童生徒の育成を図る」を協議主題として職域別部会協議と全体シンポジウムを行いました。

職域別部会協議は、学校医1(内科)、学校医2(眼科)、学校歯科医、学校薬剤師、学園長、保健主事、養護教諭、P・T・A及び教育委員会の9部会に分かれ、健康診断実施上の諸問題、学校環境衛生活動、保健管理体制、保健教育のあり方、その他学校保健の当面の諸問題について協議しました。

全体シンポジウムは「昭和50年代における学校保健の課題」一大都市において健康を阻害しつつある生活環境に対応し得る豊かでたくましい心を持つ児童生徒を育てるにはどうすればよいかを主題に学校保健の立場から心の健康についてアプローチを試みました。

上記職域別部会協議をもとに全体協議を行い、参加者全員の強い要望で、下記事項について決議し、6月末には文部省他関係官庁へ、7月上旬には関係諸団体

に要望書を提出し、それぞれの立場で要望事項解決に必要な法改正及び財政的措置等を講じていただくよう要望いたしました。

要望事項の主たる内容は下記のとおりです。

1. 中学校第2学年で実施する結核検診について、入学後の保健管理・指導に万全を期し、第1学年で実施できるよう法改正する。
2. 心臓検診強化のため、小、中、高等学校1年生全員に対する心電図検査、エックス線撮影実施の法改正と経費負担。
3. 「学校環境衛生実施基準」の早急な作成、自動車排気ガス等に対する有効適切な措置及び特別健康診断、移動教室、学校環境緑化事業等に対する予算の増額及び学校薬剤師に対する「ビル衛生管理法」に基づく建築物環境衛生管理技術者に関する規定の適用免除。
4. 日本学校安全会の災害共済給付のうち、死亡見舞金、廃疾見舞金の額の引上げ。
5. 教員養成を目的とする大学における「学校保健」講座の設置と教員免許取得の必須課目化、新規採用教員の学校保健に関する現職教育充実のため予算措置、学校の実態に応じた養護教諭の複数配置。

なお、上記要望事項のほとんどは、法改正を含め全国的問題であり、本年度全国学校保健研究大会でとりあげていただければ、幸いと存じます。

## 日本学校保健会だより

### ◆学校保健の振興に関する陳情について

昭和51年8月4日(木)午前11時に、日本学校保健会東会長名で、自由民主党文教部会長と自由民主党文教制度調査会長に対し、次の陳情を行った。

#### 1 陳情要旨

近年における生活環境の変化は、児童生徒の健康を阻害し、安全をおびやかす新しい要因を引き起こしております。このような事態に積極的に対処し、心身ともに健康な児童生徒を育成することは学校教育の重要な課題であります。

昭和52年度国家予算の編成にあたっては、学校保健に関する事業の振興について特段の御尽力と御配慮たまわりたくここに陳情します。

#### 2 陳情事項

##### (1) 学校保健の充実について

- ア. 疾病予防(特にう歯等)の調査研究
- イ. 健康診断(特に心臓、腎臓等)の充実

(2) 学校安全の充実(特に幼児・児童の交通安全教育指導)

(3) 日本学校保健会の学校保健に関する普及・調査研究・健康相談事業に対する補助の拡充。

### ◆日本学校保健会の行事日程

10月20日(水)

常務理事会……午前10時30分

理 事 会……午後1時30分

議題

①昭和52年度の本案運営の基本方針(案)

②昭和52年度の事業計画(案)

③昭和52年度の予算(案)

④昭和52年度の役員選出について

⑤船舶振興会に対する要望書について

⑥第26回全国学校保健研究大会について

⑦その他

11月12日(金)

評議員会……午前9時30分 高知会館

11月13日(土)

全国学校保健協議大会…午後4時 高知県民体育館



# 会報「学校保健」の行方

## アンケートの結果報告

地方学校保健会と本会との連絡提携をより密接にし、わが国の学校保健活動を推進して行く手がかりとして、今回のアンケートを実施した。

アンケートは項目を機関紙「学校保健」と各種出版物に関するものを中心に、その配布状況と『学校保健の動向』などの利用状態に主眼をおき、本会に対する要望や意見をたずねることにした。

対象は、全国の小・中・高等学校の中から2,000校を無作為抽出し、往復葉書によって行ったところ、アンケートに答えてくださった学校は299校で15%。この結果によって、ただちに全国的な学校保健の実態を把握する材料にはできないが、この数字は本会活動の今後のあり方に対して、一つの課題を提供したものとみることができよう。

全般的にみて、「学校保健」の最近号がとどいたところが半数弱ということは、20年来継続して発刊してきた本会の機関紙の編集、配布方法に一層のくふうを要し、また、センター的事業の各種出版物も、必ずしも周知されていない現状は、第4年度にはいったこの事

業のあり方について考えさせられる。

このアンケートの結果は、「その他」の個所にご記入いただいた若干の意見とともに、謙虚に受けとめ、機関紙や諸出版物を含む今後の本会事業が着実な前進をとげるために、なお一層地方保健会との提携が必要である。

### 〈本会のうごき〉

(1) 新設された学校保健センター的事業の専門委員会

○ 学校保健管理システム委員会

(委員長 田中恒男 外7名)

○ 健康相談(骨傷害)委員会

(委員長 船川幡夫 外6名)

○ 健康相談(腎疾患)委員会

(委員長 北川照男 外7名)

(2) 都道府県・指定都市学校保健会事務担当責任者の連絡会議は、加盟団体相互の連絡を密にするため、6月25日54団体中38名の参加を得て開催した。

(3) 常務理事会 7月29日、昭和52年度の基本方針、事業、予算の骨子について審議。(横山記)

第1図 アンケートの回収状況



第2図 アンケートにおける項目別回答の割合



## 第26回 全国学校保健研究大会

### 1. 標 題

たくましく豊かな人間性と、創造的な実践力を  
そなえた児童・生徒の育成をめざして

### 2. 期 日

昭和51年11月12日(金)、13日(土)、14日(日)、15日(月)

	9	10	11	12	13	14	15	16
11月12日 (金)	受付	職 域 別 会 合						
		日本学校保健会 評 議 員 会			受付	大会運営説明会		受付
11月13日 (土)	受付	開会式 表彰式	記念講演	昼 食 ア ト ラ ク シ ョ ン	全体シンポジウム			全国学校保 健協議大会
11月14日 (日)	受付	班 別 研 究 協 議						
11月15日 (月)	学 校 視 察							

## 第40回 全国学校歯科保健大会

第40回全国学校歯科保健大会は「保健指導と保健管理への調和～よりよき予防活動のあり方を求めて～」をテーマにかかげ、栃木県塩谷郡（鬼怒川温泉）で開催される。

1. 期日 昭和51年10月30日(土)、31日(日)

2. 会場 藤原町総合文化会館、阿久津、落合小学校

3. 日程 第1日(30日) 児童活動、公開授業、研究発表(阿久津、落合小)、パネルディスカッション(文化体育館)

第2日(31日) 開会式、表彰、報告、特別講演、全体会議、閉会(文化会館)

なお、くわしく知りたい方は、下記に問合せを

第40回全国学校歯科保健大会事務局 0286-33-0471

## 第11回 東北学校保健大会

1. 標 題 - 学校保健の積極的な展開をめざして -

2. 趣 旨 変化する現代社会の変化に対応し、生涯にわたって自らの健康安全を積極的に保持増進できる児童生徒の育成を図るため、当面する諸問題について研究協議を行う。

3. 主 催 青森県教育委員会、青森市教育委員会、日

本学校安全会青森県支部、青森県学校保健会、青森市学校保健会

4. 後 援 日本学校保健会、青森県(市)小・中・高校長会(協会)

5. 期 日 昭和51年8月10日(火)、11日(休)

6. 会 場 青森県立青森商業高等学校

歯ブラシはお口のサイズに合ったものをお選びください **パネット** **ライオン** **ジュニア**



ライオン歯磨株式会社